

白井市男女共同参画に関する住民意識調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃、市政運営にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。
白井市では、「誰もが自分らしく輝ける、誰もがその人らしさを尊重できる、真の男女平等社会の実現」を目指すため、「白井市男女平等推進行動計画＜2016－2025＞」を策定し、様々な取組を進めてまいりました。

このたび、計画の見直しを行うにあたり、様々な方のご意見やニーズを今後の施策に反映させるため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査につきましては、市内在住の満18歳以上（令和6年●月●日現在）の方2,000 人を対象に、無作為抽出にて選ばせていただきました。回答の内容は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年 10 月

白井市長 笠井 喜久雄

【 ご回答についてのお願い 】

- あて名のご本人がお答えください。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族等がご本人のお考えや思いを代理でご記入ください。
- 回答はあてはまる番号を○で囲んでください。
- 質問によっては、1つだけ○をつけるものと、複数に○をつけるものがあります。指示に従ってご回答ください。また、「その他()」に該当する場合は、()の中に具体的にご記入ください。

11月14日(木)までに、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

■調査についての問い合わせ先

白井市役所
市民環境経済部 市民活動支援課 市民活動支援係
電話:047-401-4078
FAX:047-491-3551



1 家庭生活について

問1 あなたが理想とする男女の役割分担は、次のどれに最も近いですか、また、現在のご家庭の状況（一人暮らしの人は、これまでの家庭での状況）は、次のどれに最も近いですか。（それぞれ1つずつ○）

	男性が働き、女性が家事全般をする	男性が主として働き、女性はパート、家事全般は女性がする	男性女性が共に働き、家事全般は主として女性がする	男性女性が共に働き、家事全般も男性女性が共にする	女性働き、男性が家事全般をする	特に何も決めず、できる人ができることをする	その他	わからない
①理想は	1	2	3	4	5	6	7	8
②現実には	1	2	3	4	5	6	7	8

2 仕事について

問2 あなたは、収入の得られる労働や、家庭内における家事・育児・介護などに1日平均どのくらい時間をあてていますか。（それぞれ1つずつ○）

	していない、ほとんどしない	15分くらい	30分くらい	1時間くらい	2～3時間くらい	4～5時間くらい	6～7時間くらい	8時間以上
①収入の得られる仕事	1	2	3	4	5	6	7	8
②家庭内の家事・育児・介護など【平日】	1	2	3	4	5	6	7	8
③家庭内の家事・育児・介護など【休日】	1	2	3	4	5	6	7	8

※問2で収入の得られる労働を「1 していない、ほとんどしない」と答えた方にうかがいます。

問2-1 あなたは、今後仕事をしたいと思いますか。（1つに○）

1. 常勤で働きたい	2. パートで働きたい
3. 自分で事業をはじめたい	4. 家の仕事（家業）を手伝いたい
5. したいができないと思う	6. 働きたいと思わない

※問2で収入の得られる労働を「1」していない、ほとんどしない」と答えた方にうかがいます。

問2-2 今どのような形で働いていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| 1. 事業主 | 2. 正規社員 |
| 3. 非正規社員（嘱託、契約社員、パートタイム、アルバイトなど） | 4. 家族従事者（家業の店や農業などに従事） |
| 5. その他（ ） | |

※問2で収入の得られる労働を「2」～「8」と答えた方にうかがいます。

問2-3 あなたの育児・介護に関する休暇制度の取得状況はどれですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 1. 取得した・取得中である・取得予定である | 2. 制度はあるが、取得したことはない |
| 3. 制度について知らなかった | 4. 該当しない（子ども、介護が必要な親族はいない） |
| 5. その他（ ） | |

※問2で収入の得られる労働を「2」～「8」と答えた方にうかがいます。

問2-4 あなたの職場では、社員（職員）が有給休暇や育児・介護休業を取りやすい環境にありますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 取りやすい | 2. どちらかといえば取りやすい |
| 3. どちらかといえば取りにくい | 4. 取りにくい |
| 5. わからない | |

問3 女性の働き方についてあなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか(1つに○)

- | |
|--|
| 1. 結婚する、しないにかかわらず、女性は働きに出ないで家にいた方がよい |
| 2. 退職して家事や育児に専念した方がよい |
| 3. 家事や育児が忙しい時期には休・退職し、子どもが大きくなってから再び働くのがよい |
| 4. 結婚や出産にかかわらず、仕事を持ち続けた方がよい |
| 5. 必要に応じて、臨時にパートやアルバイトをするのがよい |
| 6. その他（ ） |
| 7. わからない |



問4 育児や介護があっても仕事を継続できるようにするにはどのような援助や対策が望まれると思いますか。(1つに○)

1. 育児・介護を行う社員の雇用機会や採用数を同等にすること
2. 待遇（給与、昇進）に差がないようにすること
3. 配属や仕事の内容に差を設けないこと
4. 育児や介護のとき、家族の理解・協力を得ること
5. 育児や介護との両立について、職場内の同僚・上司の理解が得られにくいこと
6. 保育施設や保育制度が充実していないこと
7. 病人や高齢者の世話が女性だけに任されないようにすること
8. 出産や育児を機に女性が退社するべきという社会の風潮をなくすこと
9. 配偶者控除等、専業主婦世帯が優遇されている制度を改正すること
10. 育児休業や介護休業等が取りやすいこと
11. その他（ ）
12. わからない

問5 あなたは、管理職以上に昇進したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 積極的に昇進したい | 2. 機会があれば昇進したい |
| 3. あまり昇進したくはない | 4. 昇進したくない |
| 5. 既に管理職以上である | 6. わからない |

※問5で「3」～「4」と答えた方にうかがいます。

問5-1 昇進したくないと思う理由は何ですか。(1つに○)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 自分自身で決められる事柄が多くなるから | 2. やるべき仕事が増えるから |
| 3. 責任が重くなるから | 4. ねたみや嫉妬で足を引っ張られるから |
| 5. 仕事と家庭生活の両立が困難になるから | 6. その他（ ） |
| 7. 特にない | 8. わからない |

問6 生活の中での、仕事・家事（育児・介護含む）・プライベートな時間（地域活動・学習・趣味・付き合いなど）の優先度について、「理想」と「現実」のそれぞれの視点で、あなたのお考えや現状に最も近いものはどれですか。（○はそれぞれ1つ）

	仕事優先	家事優先	プライベートルーム優先	仕事と家事優先	仕事とプライベートルーム優先	家事とプライベートルーム優先	仕事・家事・プライベートルームを両立
①理想は	1	2	3	4	5	6	7
②現実には	1	2	3	4	5	6	7

問7 あなたにとって、仕事・家事・プライベートな時間のバランスは、うまくとれていると思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. うまくとれている | 2. ややとれている |
| 3. あまりとれていない | 4. まったくとれていない |

※問7で「3」～「4」と答えた方にうかがいます。

問7-1 仕事・家事・プライベートな時間のバランスがうまくとれない理由は何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. うまく時間配分ができないから
2. 家族の理解や協力が得られないから
3. 世間に、「男性は仕事、女性は家庭」という風潮や固定観念があるから
4. 家事、育児、介護等をしなければならないから
5. 子どもを預ける場所がなかったり、不足したりしているから
6. 生活のため、仕事（収入）を優先せざるを得ないから
7. 仕事が忙しい、残業が多い、休めない、通勤時間がかかる等の理由で、時間がないから
8. 職場の理解や協力が得られないから
9. 近くにスポーツ・文化施設が少ないから
10. 社会制度や環境が整っていないから
11. その他（ ）
12. わからない



4 男女共同参画に関する意識について

問8 次の各項目で、男女は対等な立場にあると思いますか。お考えに最も近い段階を選んでください。(それぞれ1つずつ○)

	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらか といえば男 性の方が優 遇されている	対等にな っている	どちらか といえば女 性の方が優 遇されている	女性の方 が非常に優 遇されている
A 学校教育の場	1	2	3	4	5
B 地域活動の場(自治 会、ボランティア等)	1	2	3	4	5
C 家庭生活	1	2	3	4	5
D 職場	1	2	3	4	5
E 社会通念・慣習・し きたりなど	1	2	3	4	5
F 法律や制度の上	1	2	3	4	5
G 政治の場	1	2	3	4	5
H 全体として今の日 本では	1	2	3	4	5

問9 男女平等をいっそう進めるため、日ごろから心がけていることがありますか(あてはまるものすべてに○)

1. 「男性は仕事、女性は家庭」と、性別によって役割を決めつけない
2. 家事や育児、介護などを女性だけが引き受けず、男女で協力し合う
3. 自分の生活費は自分で稼ぎ、自分のことは自分で決め、身の回りのことは自分でするなど、男女とも1人でも生きていけるようにする
4. 男の子、女の子を区別しない子育て・しつけ、教育をする
5. 社会のいろいろな出来事に目を向けるようにする
6. 「男らしく」「女らしく」というような押しつけをしない
7. 「女々しい」「男勝りな」などの、性別を強調した言葉はできるだけ使わない
8. 性別を気にせず、自分の個性や好みに合った服装や髪型を選ぶ
9. その他 ()
10. 特に何もない

問10 次のA～Lの言葉を知っていますか。それぞれの言葉について最も近い段階を選んでください。(それぞれ1つずつ○)

	よく知っている	聞いたことはある	知らない
A 女子差別撤廃条約	1	2	3
B 育児・介護休業法	1	2	3
C 男女共同参画社会	1	2	3
D 刑法の性犯罪規定の改正	1	2	3
E ジェンダー	1	2	3
F LGBTQ+	1	2	3
G リプロダクティブ・ヘルス／ライツ	1	2	3
H ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
I ポジティブ・アクション	1	2	3
J アンコンシャス・バイアス	1	2	3
K デートDV	1	2	3
L 生理の貧困	1	2	3

◆刑法の性犯罪規定の改正（令和5年7月13日施行）について

強制・準強制性交罪を「不同意性交罪」に一本化し、「不同意性交罪」の要件を「同意しない意思を形成、表明、もしくは全うすることが難しい状態」と定めたほか、性交同意年齢の見直し（原則13歳から16歳への引き上げ）等が盛り込まれています。

◆リプロダクティブ・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康・権利）とは

生殖に関する「健康」と「権利」のことです。「健康」としては、安全で満足できる性生活、安全な出産等が、「権利」としては、避妊・妊娠・中絶・出産の過程において、自ら「いつ」、「何人」、「子どもを産むか、産まないか」を決定する自由、性・生殖に関する適切な情報とサービスを得られる権利等が挙げられます。

◆ポジティブ・アクション（積極的改善措置）とは

家庭、職場、学校、地域その他の社会のあらゆる分野における活動に参画する機会に係る男女間の格差を改善するため必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、その機会を積極的に提供することです。

◆アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）とは

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みのことです。

例)「性別」で任せる仕事や、役割を決めていることがある

男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」と咄嗟に思う

“親が単身赴任中です”と聞くと、まずは「父親」を思い浮かべる

問11 次のA～Dを知っていますか。それぞれの言葉について最も近い段階を選んでください。(それぞれ1つずつ○)

	よく知っている	聞いたことはある	知らない
A 白井市男女平等推進行動計画	1	2	3
B 女性生き生き相談（白井市）	1	2	3
C 青少年女性センター（白井市）	1	2	3

5 ドメスティック・バイオレンス (DV) について

問12 これまで、ハラスメントを受けた経験はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）	2. パワー・ハラスメント（パワハラ）
3. マタニティ・ハラスメント（マタハラ）	4. パタニティ・ハラスメント（パタハラ）
5. 性的指向や性自認に関するハラスメント（SOGIハラ）	6. その他（ ）
7. ハラスメントを受けたことはない	

問13 これまでに配偶者（事実婚や別居、離別を含む）や恋人などのパートナーから、次にあげるA～Dのような経験がありますか。(それぞれ1つずつ○)

	したことがある	されたことがある	両方ある （「したこと」も「されたこと」もある）	両方ない （「したこと」も「されたこと」もない）
A 身体的暴力	1	2	3	4
B 精神的暴力	1	2	3	4
C 性的強要	1	2	3	4
D 経済的圧迫	1	2	3	4

※身体的暴力：なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなど

※精神的暴力：人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫など

※性的強要：いやがっているのに、性的な行為を強要される、見たくないのにポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど

※経済的圧迫：生活費を渡されない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害されるなど

※問 13 で「2」～「4」と1つでも答えた方にうかがいます。

問 13-1 そのとき、だれ、もしくはどこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|--|
| 1. 市役所の相談窓口（女性生き生き相談、特設人権相談所、家庭児童相談室、こころの健康相談など） | 2. 千葉県の相談窓口（女性サポートセンター、男女共同参画センター、児童相談所など） |
| 3. 警察 | 4. 法務局 |
| 5. 民生委員・児童委員 | 6. 法律関係者（弁護士など） |
| 7. 医療関係者（医師、看護師、保健師など） | 8. 学校関係者（教員、養護教員、スクールカウンセラーなど） |
| 9. 民間の相談機関（民間シェルター・カウンセリング機関等） | 10. 家族や親戚 |
| 11. 友人・知人 | 12. その他（ ） |
| 13. どこ（だれ）にも相談しなかった | |

※問 13-1 で「1」～「12」と答えた方にうかがいます。

問 13-2 相談した際の手段はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 対面での相談 2. 電話での相談
3. メールでの相談 4. チャット、SNSでの相談
5. その他（ ）

※問 13-1 で「13.どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方にうかがいます。

問 13-3 どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかった
2. 相談窓口があるのを知らなかった
3. SNSなどで相談したかったが、そのような窓口がなかった
4. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
5. 相談しても無駄だと思った
6. 相談するほどのことではないと思った
7. 相談したことがわかると、仕返しをされたり、もっとひどい暴力を受けると思った
8. 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思った
9. 別れたら、生活できないと思った
10. 自分に悪いところがあると思った
11. その他（ ）

問14 あなたは、このような配偶者やパートナーからの暴力についてどのようにお考えですか。(1つに○)

1. 100%加害者に責任があり、許せないものである
2. 加害者の責任はもちろんだが、つい手が出てしまうという気持ちもわかる
3. 加害者に責任があるとしても、被害者側にも原因の一端があると思う
4. 双方の関係の問題であり、周りがとやかく言うべきではない
5. その他 ()
6. わからない

問15 あなたは、配偶者やパートナーからの暴力を防止するために必要だと思うことは何ですか(3つまで○)

1. 法律・制度の制定や見直しを行う
2. 犯罪の取り締まりを強化する
3. 被害者を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
4. 被害者のための相談機関や保護施設を整備する
5. 家庭における男女平等についての教育を充実させる
6. 学校における男女平等についての教育を充実させる
7. メディアが自主的取組を強化し、暴力を無批判に取り扱わないようにする
8. 過激な暴力表現を扱った映像、ゲームソフト等の販売、貸出や配信を制限する
9. その他 ()
10. わからない

6 性と生殖に関する健康・権利について

問16 あなたは、女性の生涯にわたる健康を守るために、性や妊娠・出産に関して女性自身で決めるうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(2つまで○)

1. 子どもの成長と発育に応じた男女平等に基づく性教育・人権教育
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 喫煙や薬物など、男女の健康への害についての情報提供・相談体制の充実
4. 性感染症（H I V、カンジダ症、クラミジア感染症など）についての情報提供・相談体制の充実
5. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
6. その他 ()
7. わからない

7 子育てや学校教育について

問17 学校教育の中で男女平等の意識を深めるためには、特に何が大切だと思いますか。
(3つまで○)

1. 男性女性が共に、身の回りのことが自分でできるよう学べる機会を設ける
2. 男性女性が共に、経済的に自立できるような職業訓練や進路指導を受けられるようにする
3. 相手へのいたわりや理解が増すような性教育をする
4. 性差別や人種差別などに問題意識を持たせる
5. 国際交流や交換留学を活発にし、他国の事例や価値観を学ばせる
6. 教職員への男女平等研修を充実する
7. その他 ()
- 8.今のままでよい

問18 今の子どもたちには、男女平等の意識がどの程度浸透していると思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 十分浸透している | 2. ある程度浸透している |
| 3. あまり浸透していない | 4. 浸透していない |

※問18で「1」～「2」と答えた方

問18-1 浸透していると思う理由は、下記のどれにあたりますか。(3つまで○)

1. 技術科・家庭科を男女が共に学ぶようになるなど、授業で男女の不要な区別がなくなったから
2. 学校での先生の接し方(名前の呼びかたなど)が変わったから
3. 混合名簿の採用で男子を上とする風潮がなくなったから
4. 母親が仕事をしたり、地域活動に参加したりするなど、母親の生き方や意識が変わったから
5. 父親も家事・育児に参加するなど、父親の生き方や意識が変わったから
6. テレビや新聞などのマスメディアで、性別にとらわれず自分らしく生きる男女の情報が提供されるから
7. インターネットで、性別にとらわれず自分らしく生きる男女の情報が提供されるから
8. 国・自治体の啓発が浸透しているから
9. 級長・部長・生徒会役員など、生徒の中の役員を男女が平等に担うようになったから
10. 国際化の浸透で、海外の男女平等の在り方が影響しているから
11. その他 ()

8 高齢期の暮らしについて

問19 高齢者や病人の介護は、主として女性（妻、娘、息子の配偶者）の役割になりがちです。このことについてあなたはどのように思いますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 女性の役割として当然だと思う | 2. 介護される側のことを考えると、女性が介護する方がよい |
| 3. 労働時間などの現状からみて、女性に負担が集中するのはやむを得ない | 4. 男性も積極的に取り組む方がよい |
| 5. その他（ ） | 6. わからない |

問20 男性の介護への参加を進めるためには、特にどのようなことが必要だと思われますか。（2つまで○）

- | |
|---|
| 1. 男性が取りやすいような介護休暇制度を企業等が整備する |
| 2. 男性が気軽に参加できるような介護講座を開催する |
| 3. 男性の理解と協力を得るための啓発活動を国や地方公共団体が行う |
| 4. 労働時間の短縮や、在宅勤務、フレックスタイムの導入などを企業等が導入する |
| 5. 女性が男性に介護への参加を強く要望する |
| 6. 介護は今まで通り、女性が中心となって行うべきで、男性の参加は必要ない |
| 7. その他（ ） |
| 8. わからない |

9 地域の活動について

問21 あなたの地域活動（自治会やボランティア等）への参加状況は、次のどれにあたりますか。（1つに○）

- | | | |
|-----------|------------------|---------------|
| 1. 参加している | 2. 参加したいが、できていない | 3. 参加するつもりがない |
|-----------|------------------|---------------|

※問21で「2. 参加したいが、できていない」と答えた方にうかがいます。

問22 地域活動（自治会やボランティア等）へ参加できない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 1. 時間が取れない | 2. きっかけがない | 3. 情報が少ない |
| 4. 人付き合いが苦手 | 5. 関心がない | 6. 特に理由はない |
| 7. その他（ ） | | |



問23 地域活動（自治会やボランティア等）に、女性がリーダーとして参加することについて
どのようにお考えですか。（1つに○）

1. 女性も積極的に参画するほうがよい	2. 男性に任せたほうがよい
3. 女性が参画することには賛成だが、現実には難しい	4. わからない

10 防災・避難について

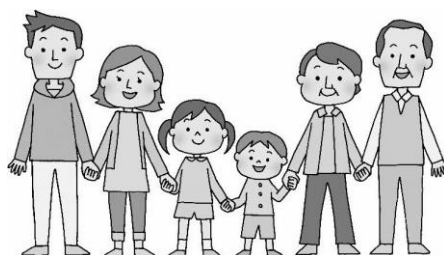
問24 防災（災害復興も含む）活動に関して男女共同参画を推進していくためには、特にどのようなことが必要と考えますか。（それぞれ1つに○）

	必要	どちらか といえば 必要	あまり 必要では ない	必要ない
A 防災訓練や防災研修会への女性の積極的な参加に努める	1	2	3	4
B 母親教室、乳幼児教室、PTA活動等、女性が多く集まる場での研修・訓練	1	2	3	4
C 女性消防職員や女性消防団員の育成、役員への女性の登用	1	2	3	4
D 地域の自主防災活動の運営に関する女性の積極的な参加	1	2	3	4
E 災害時ボランティア登録など多様な人材の確保	1	2	3	4
F 女性や乳幼児等に配慮した避難所機能の確保	1	2	3	4
G 男女別のニーズに配慮した避難所などでの支援マニュアルの充実	1	2	3	4
H 避難所運営の際の女性リーダーの配置	1	2	3	4

11 白井市への要望について

問25 男女の共同参画を進めるため、これから市が特に力を入れて取り組むべきことは何だ
と思いますか。(3つまで○)

1. 男女共同参画についての学習講座を開くなど、社会教育を充実させる
2. すべての施策に男女共同参画の視点を取り入れる
3. 市全体の男女共同参画を推進するための条例を制定する
4. パートナーシップ宣誓制度やファミリーシップ制度を導入する
5. 市の審議会など、施策を決定する場に女性の参加をもっと増やす
6. 学校での男女平等教育を進める
7. 女性の就労を支援するために、情報提供や職業訓練の場を充実させる
8. 保育所や学童保育など、地域の子育て環境を整える
9. ホームヘルプ、ショートステイ、デイサービスなどの介護サービスを充実させる
10. 男女共同参画センターなど拠点となる施設を整備する
11. 関連ある情報を積極的に提供する
12. 相談やカウンセリング機能を充実する
13. ひとり親（母子・父子）家庭を援助する
14. 男性が家庭生活で自立できたり、地域活動に参加できたりするような活動を進める
15. 女性の視点に配慮した防災・災害対策を行う
16. その他（ ）
17. 特に何もなし（力を入れる必要がない）
18. わからない



あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別をお答えください。(自認する性別でお答えください)(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 無回答 |
|-------|-------|--------|--------|

F2 あなたの年齢をお答えください。(数字をご記入ください。)

歳(11月1日時点)

F3 あなたは現在、結婚(事実婚を含む)していますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 1. している(事実婚またはパートナーを含む) | 2. していない(離別) |
| 3. していない(死別) | 4. していない(未婚) |

※F3で「1. している(事実婚またはパートナーを含む)」と答えた方にうかがいます。

F3-1 あなたの世帯は、共働きですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 共働き | 2. 夫(またはパートナー)だけ働いている |
| 3. 妻(またはパートナー)だけ働いている | |

F4 あなたは、現在どちらの地区にお住まいですか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 白井第一小学校区 | 2. 白井第二小学校区 | 3. 白井第三小学校区 |
| 4. 大山口小学校区 | 5. 清水口小学校区 | 6. 南山小学校区 |
| 7. 七次台小学校区 | 8. 池の上小学校区 | 9. 桜台小学校区 |

F5 主なお仕事は何ですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 共働き | 2. 夫(またはパートナー)だけ働いている |
| 3. 妻(またはパートナー)だけ働いている | |

F6 主な仕事場(学校)はどちらですか。(1つに○)

1. 農林業	2. 商店・工場・サービス業などの自営業
3. 会社または団体の役員	4. 医師・弁護士などの自由業
5. 会社・商店・工場・サービス業などの勤め人	6. 官公庁・学校などの公務員
7. パート、アルバイト、派遣、内職などの臨時的な仕事	8. 専業主婦(主夫)
9. 学生	10. 無職
11. その他()	

F7 あなたの同居している家族の構成をお答えください。(1つに○)

1. ひとり暮らし(同居の家族はいない)	2. 夫婦のみ
3. 親と子	4. 親と子と孫
5. その他()	

※F7で「2」～「4」と答えた方にうかがいます。

F7-1 同居されている方に、次のような方はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就学前の子ども	2. 小学生の子ども
3. 中学生・高校生の子とも	4. 介護を必要とする方
5. 介護を必要としない65歳以上の方	6. 同居者にあてはまるものはいない

アンケート調査へのご協力、ありがとうございました。
記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れ、
切手を貼らずに **11月14日(木)**までにポストにご投函ください。

